

# 地域とせいしんの絆

せいしんは、金融サービスの提供と地域貢献活動を通じて、  
地域を明るく元気にします。



## 平成27年度 新入職員

元気な挨拶と弾けるような  
笑顔がモットーです。



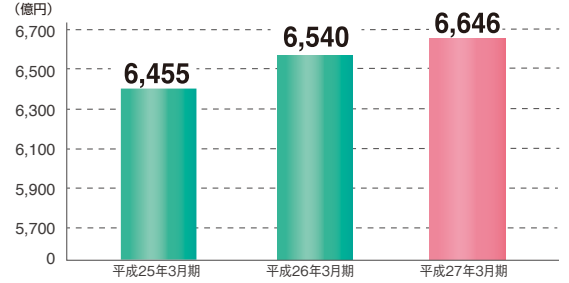
# 平成26年度業績ハイライト

## 預金積金残高

**6,646** 億円

平成26年度は、個人のお客さまを対象に、金利のメリットを受けていただきながら、社会貢献もできる定期預金「地域応援団」の販売キャンペーンを夏冬2回実施いたしました。また、お客さまが楽しみながら資産形成をしていただけるよう、グルメ商品をお届けする定期積金「夢キャッチ・グルメ」等も販売いたしました。その結果、個人のお客さまを中心に前期比106億10百万円増加いたしました。

【預金積金残高の推移】



## 貸出金残高

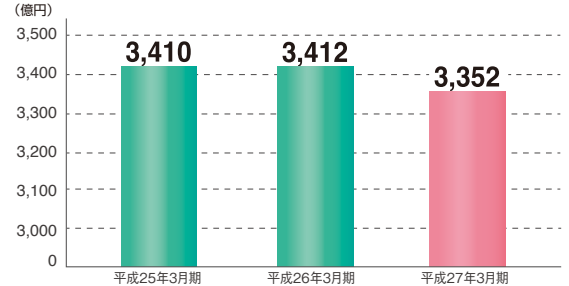
**3,352** 億円

地元事業者の成長と地域経済の活性化のお役に立てるよう、成長分野向けの資金ニーズに積極的に対応したほか、担保や保証に過度に頼らない融資取組みも強化いたしました。急速な円安進行の際には、円安・原材料等高騰に対応した資金の取扱いに加え、ご相談窓口も設置し、サポート体制を強化いたしました。

また、住宅ローンの上限金額を上げたほか、無担保住宅ローンや住宅ローン等のご利用者向けのカードローン「プラス+」のお取扱いを開始いたしました。

このように、様々なメニューを取り揃えて活動いたしましたが、本格的な資金需要の回復にまでは至らず、前期比59億48百万円の減少となりました。

【貸出金残高の推移】

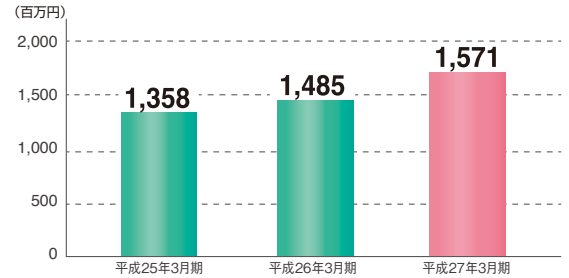


## 当期純利益

**15** 億円

利回りの低下により貸出金利息は減少いたしました。株高・債券高等の市場環境を背景とした余裕金運用収益の増加に加え、企業業績の改善による与信費用の減少を主因に、当期純利益は15億71百万円と前期比86百万円の増益となりました。

【当期純利益の推移】



## 自己資本比率(単体ベース)

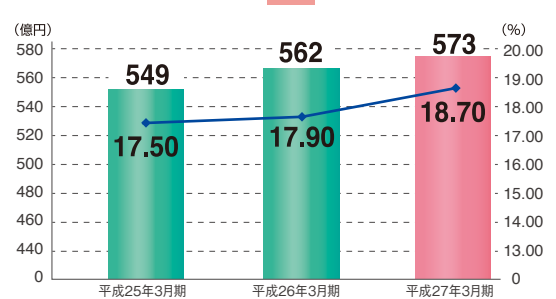
**18.70** %

自己資本比率は、リスクの度合いに応じて換算した資産に対する、出資金や内部留保等の自己資本の割合のことで、金融機関の健全性を示す重要な指標のひとつです。

平成27年3月期の自己資本比率は、当期純利益の計上等により18.70%と、前期比0.80ポイント上昇しました。引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。

今後とも、皆さまに安心してご利用いただけるよう、自己資本の充実に努めてまいります。

【自己資本額/自己資本比率】



## 不良債権の状況(金融再生法ベース)

平成27年3月期の金融再生法上の不良債権残高は239億円となり、不良債権比率は7.06%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で221億円、92.58%がカバーされております。残りの不良債権残高17億円も潤沢な自己資本573億円によりカバーされ、不良債権に対する備えは万全です。

【金融再生法に基づく開示債権の状況(平成27年3月期)】

